

研修から就農、そして就農後の営農までサポート体制を充実！！



山村農業実践センターでは、実践に即した研修を行っていきます。研修生は就農時の栽培予定品目を自主管理します。ここでは研修生の主体性を尊重した指導を行います。主な指導は共同研修として、山村農業実践センターで栽培する品目について具体的に指導します。そのため、研修生の栽培品目も大豊町に適した品目を選んでもらう必要があります（別項：栽培予定品目および、作付計画参照）。



まずは研修申込み

大豊町HP「おいでよ！おとよ」のトピックスに研修と青地で標記しています。クリックすると要領および申込書一式（申込書、誓約書、申込み動機等）があります。履歴書を添えて申し込んでください。ダウンロード等できない場合は、事務局まで連絡ください。

- 定員：6名
- 応募資格：原則40歳以下
- 募集期間：毎年10月～2月および、4月～8月
ただし、定員に達し次第終了

一度、体験研修に来てください

研修希望者からの申込書を事務局が受け取ると、体験研修について事務局から研修希望者に連絡があります。研修希望者は1日以上体験研修を受けた後、大豊町担い手育成総合支援協議会が面接を行います（体験研修のみでもOK）。

体験研修（無料）実施場所

- ・山村農業実践センター
- ・(株)大豊ゆとりファーム
- ・受入農家（有機栽培）



いよいよ研修開始です

研修は個人に合わせた段階があります。

- 農業未経験者
四万十町にある高知県立農業担い手育成センターで基礎研修（数ヶ月～1年）を受けた後、山村農業実践センターで研修を行います。
- 農業経験者
山村農業実践センターでの研修終了後、大豊町内で就農となります。
※大豊町での研修には、基礎課程と実践課程があります。定期的に研修生と面談し、習熟度に応じて基礎課程から実践課程へと進んでいきます。評価によっては基礎課程で研修終了となります。

就農とその後

農業を始めるには、多くのサポートが必要です。大豊町では、以下の体制を整備しています。

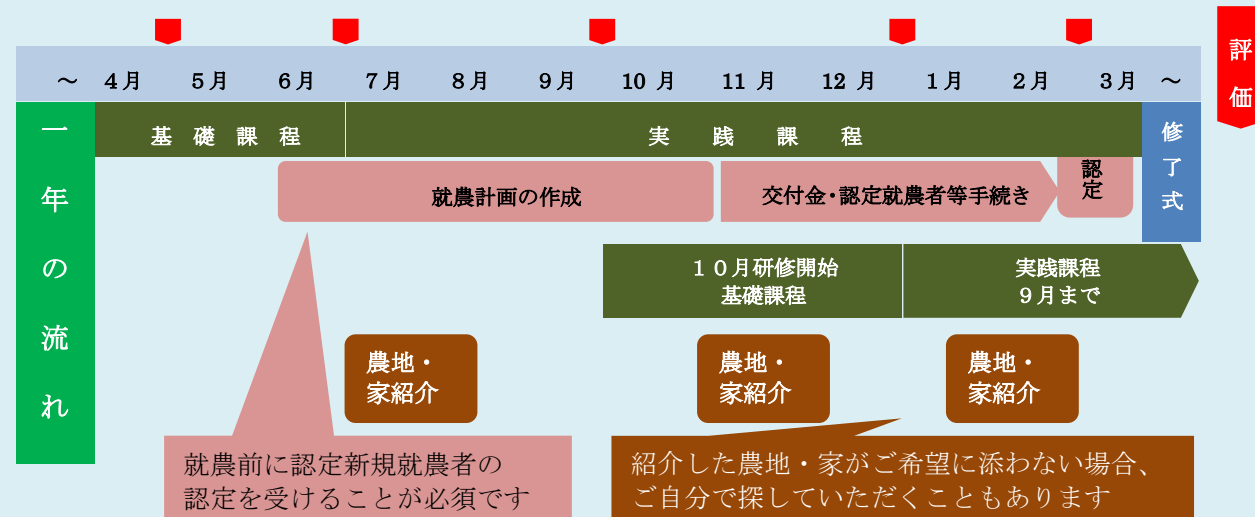
- 大豊町：住居の整備、空き家紹介、園芸用ハウス整備事業
- (株)ゆとりファーム：農地斡旋、技術指導、農業機械リース、販路
- JA土佐れいほく：部会活動、販路等
- 担い手協議会：研修・就農支援、営農指導等
- 地域のみなさん：日常生活、地域活動等

次のような方を求めています

- ・年齢40才以下で大豊町に居住し就農に意欲のある方
- ・地域の担い手として、地域活動に参加できる方
- ・農業経験者または研修により農業の基礎を習得されている方
- ・「高知県立農業担い手育成センター」（四万十町）で1年程度の研修ができる方（農業未経験者）

※大豊町担い手育成総合支援協議会において面接選考を行います。

四万十町や大豊町での研修期間に加え、就農当初は収入がありません。当面の生活費として300万円程度は必要と思われるます。



評価



- 研修開始時期：原則4月、10月
- 研修期間：山村農業実践センターで1年、または2年（担い手育成センターでの研修は1年以内）
- 研修時間：基本1日8時間
8:00～17:00（冬時間）
6:00～19:00（夏時間、休憩含む）
- 冬・夏時間の変更や研修時間の変更は、研修状況に応じ適宜行います

講義（詳細は次項）

栽培や就農に関する講義を行います。実践センター職員その他、外部講師として高知大学、農業会議、農業改良普及所等を予定しています

- 費用：研修費なし
- 寮（個室）があります。寮費なし
- 研修生用に新しく改築しました（6部屋）
- 光熱・共益費等で月額15,000円以内です
- 食費は自費で願います
- 昼食のみ弁当（有料）を手配しますが、朝食・夕食については自炊となります

●栽培予定品目

- 三色ピーマン
- ミニトマト
- ショウガ
- ハウレンソウ（冬作）
- その他



4月～7月	4～5月中心	収穫・調整は通年	講義+個別対応
農業機械の操作 ・トラクター、管理機他 農機具の取り扱い ・ジョレン、ホ他 灌水装置設置	圃場準備 ・土づくり、畝立て他 栽培初期管理 ・育苗、定植、灌水他 栽培の流れの把握（講義）	栽培管理 ・誘引、整枝、摘心他 収穫技術 ・収穫、調整他	就農計画作成 ・作付け計画 ・経営計画

その他の品目については今後拡大検討中です

